

2021年4月1日

各位

会社名 倉庫精練株式会社
代表者名 代表取締役社長 羽田 学
コード 3578 東証2部
問合せ先 総務課長 上田 紀昭
電話番号 076-249-3131

当社株式の時価総額に係る猶予期間の解除についてのお知らせ

当社株式は、2021年3月において月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となり、東京証券取引所の上場廃止基準に該当しないことになりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、2020年2月の月末時価総額が10億円未満となり、東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a本文（時価総額）に定める上場廃止基準に係る猶予期間に入りましたが、2021年3月における月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上となりましたことから、東京証券取引所の定める上場廃止基準に該当せず、猶予期間入りの指定が解除されることとなりました。

（ご参考）

- ① 2021年3月の月間平均時価総額 1,236,497,061円
- ② 2021年3月の月末時価総額 1,330,717,440円
（3月31日終値 520円 × 3月31日上場株式数 2,559,072株）

2. 今後の見通しについて

当社グループは、2021年2月12日付の「2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準]（連結）」のとおり、2021年3月期 第3四半期（連結）の業績を売上高14億78百万円（前年同期比31.9%減）、営業損失2億38百万円（前年同期は1億33百万円の損失）経常損失1億34百万円（前年同期は1億30百万円の損失）親会社株主に帰属する四半期純損失1億39百万円（前年同期は、66百万円の損失）と公表しました。

また、2021年2月12日付の2021年3月期通期連結業績予想の修正を、売上高19億40百万円（前回発表予想17億円）、営業損失3億円（前回発表予想4億30百万円の損失）、経常損失2億円（前回発表予想3億50百万円の損失）、親会社株主に帰属する当期純損失2億円（前回発表予想3億50百万円の損失）とし、公表しました。

当社グループは、2020年11月12日付で、2021年4月から3ヵ年の新たな中期経営計画「REBORN2023」を決議し、公表いたしました。

中期経営計画では、戦略的な設備投資を実行に移し、収益力向上とコスト削減を強力に押し進めることによって、早期の黒字化と安定的な株主還元を目指しており、2023年3月期（連結）には、営業損益・経常損益・親会社株主に帰属する当期純損益とも黒字化の達成を目指しております。

当社グループは、この中期経営計画を着実に推進することにより、今後も引き続き東京証券取引所市場第二部における上場を維持するよう努力していくことはもとより、企業価値の更なる向上に取り組んでまいり所存であります。

株主の皆様をはじめ、関係者の皆様にご迷惑とご心配をお掛けいたしました。引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上